

入場無料

2016年3月19日（土）

14:00~16:30

会場

群馬県

社会福祉総合センター
大ホール

（事前申し込み不要）

講師 小林 悦子氏



生活を支える看護師の会主宰 株式会社エイジング・サポート プロデューサー
准看護師、介護支援専門員、岐阜県中津川市出身。
幼稚園教諭から看護職へ転身。2006年より特別養護老人ホーム(東京都足立区)
の看護職員として看取り援助を確立。その後施設長職を経て、2015年、看護師に
よる看護師のための「生活を支える看護師の会」を設立、主宰。現在は主に特養
等における看取り援助・看護業務サポート&コンサルタント、在宅医療サポート、
セミナー・講演等を行いながら、幅広く「看取り援助」のサポート活動に携わる。書
籍:「いのちをつなぐ看取り援助」(共著)

いのちの最期のとき、人として当たり前
の生き方、当たり前の看取りとは？

認知症が進んだり、歩けなくなったり、食べられなくなったりなど、体が少しずつ変化していくなかで、私たちはそのことをどう受け止め、どこで生活し、どんな医療や介護を受けたらいいのか悩みます。小林先生の“人生の最終章を援助する看取り援助”のご経験から、最期まで自分らしく生きるために大切なことは何かについてお話しいたします。

群馬県在宅医療総合推進事業

後援：高崎市 高崎市教育委員会

お問い合わせ先

高崎中央病院 担当：地域連携室 富岡

電話：027-323-2665



いのちをつなぐ看取り援助
生活を支えるための

交通のご案内

群馬県社会福祉総合センター(前橋市新前橋町13-12)の8階にあります。

電車 JR新前橋駅から徒歩5分

バス 群馬中央バス「滝川橋停留所」下車 徒歩1分

自動車 関越自動車道前橋インターチェンジから10分

駐車場 構内に駐車場がありますが、イベント等で来場者が多いときは、構外駐車場(徒歩10~15分)を案内されることがあります。

